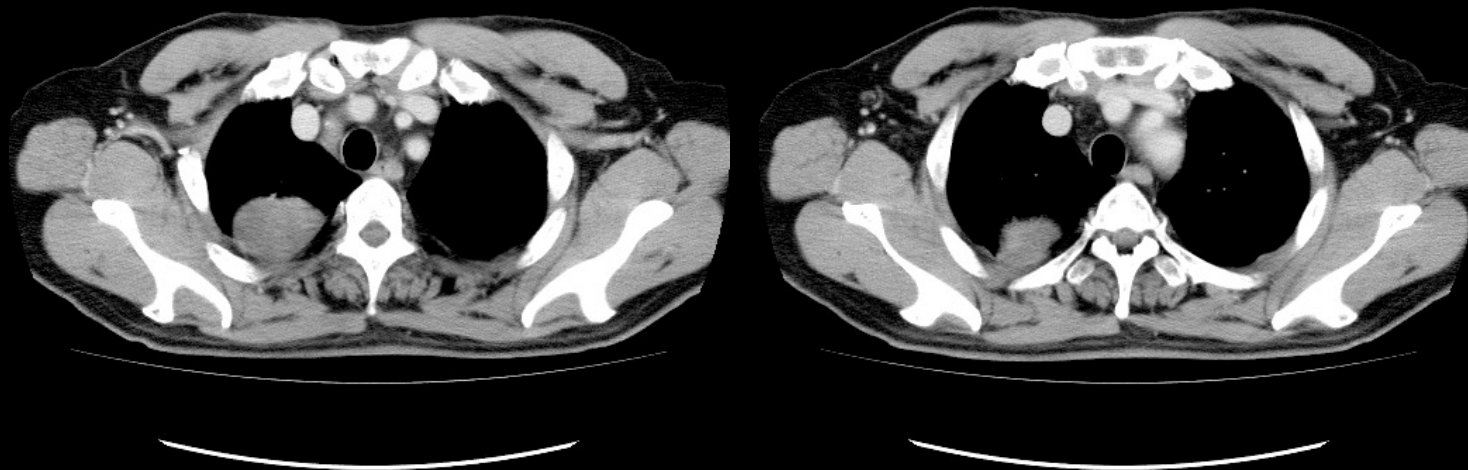
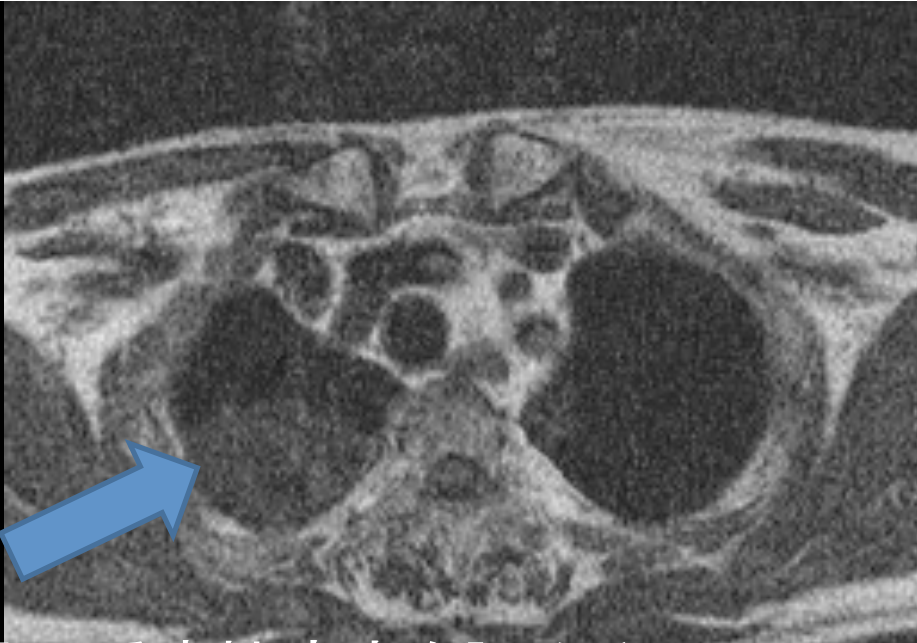
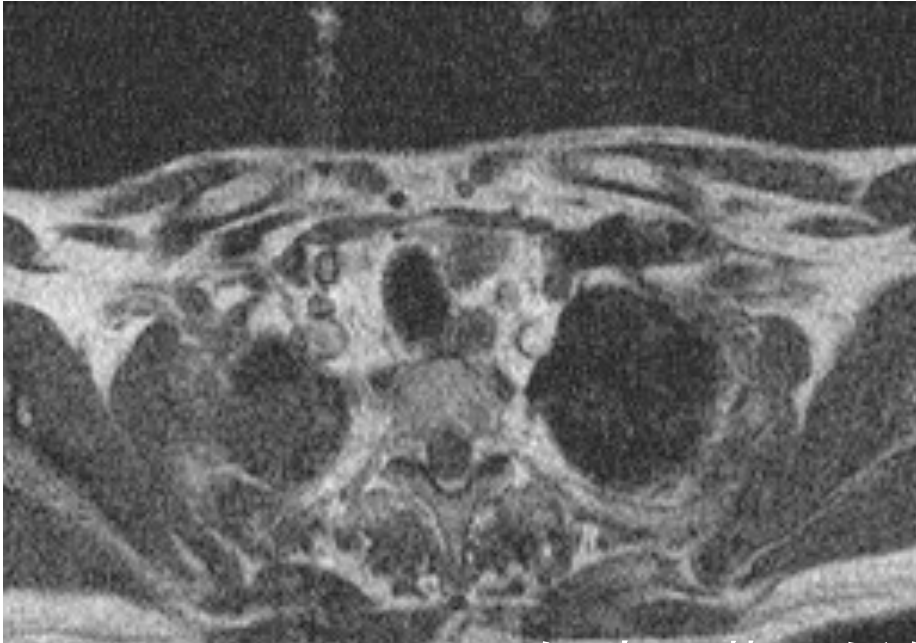
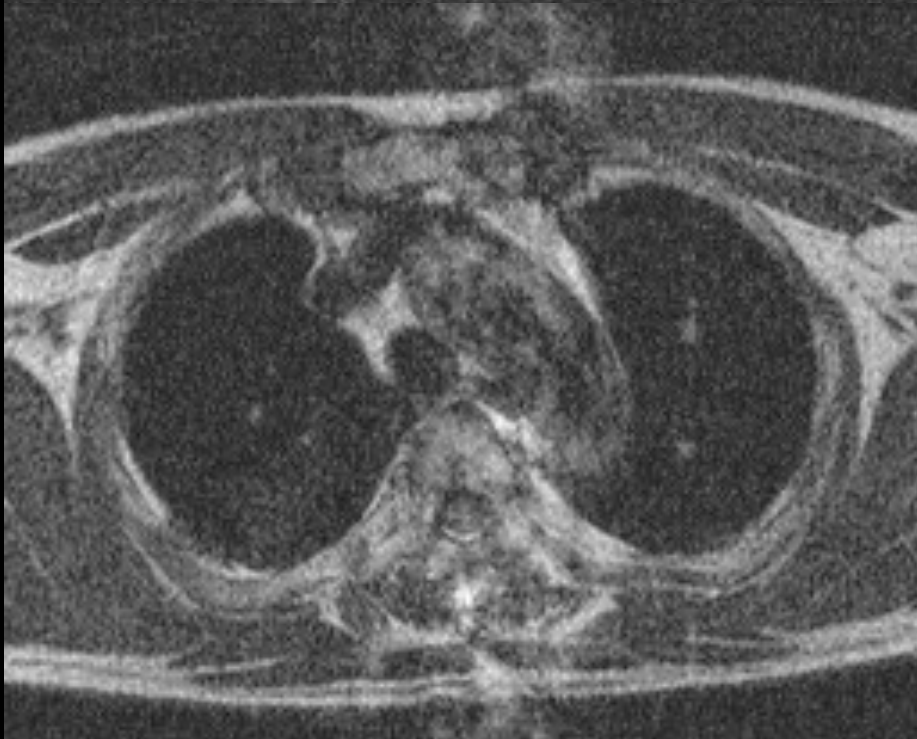
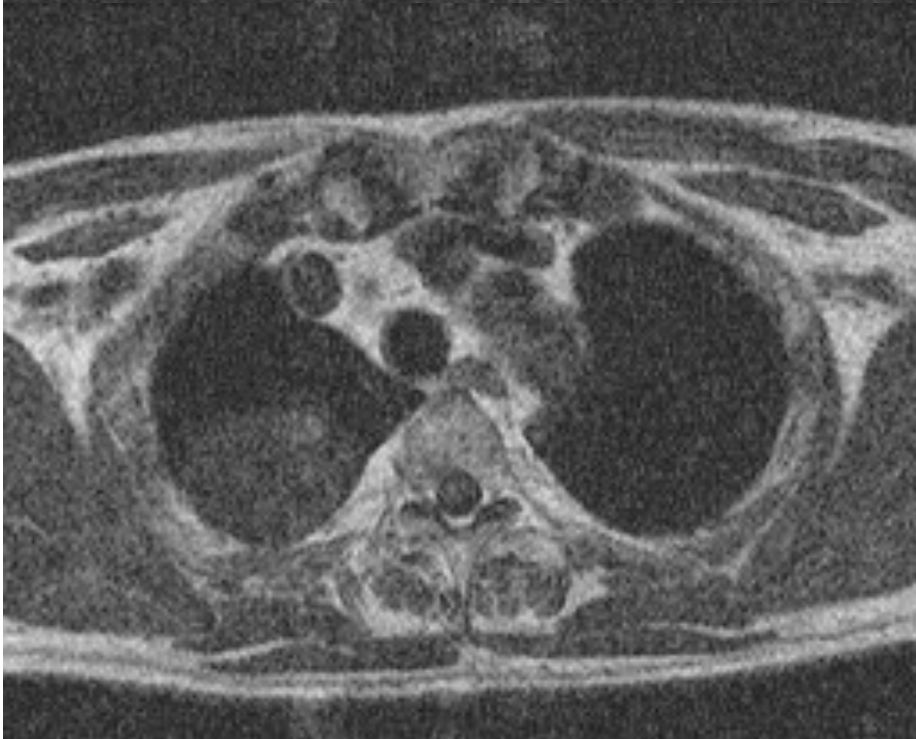


右肺上葉に均一に造影される腫瘍性病変を認める。
胸膜への進展はCTでははっきりしない。
胸壁の脂肪層が観察され、胸膜（壁側、臓側胸膜）
からの病変が示唆された。





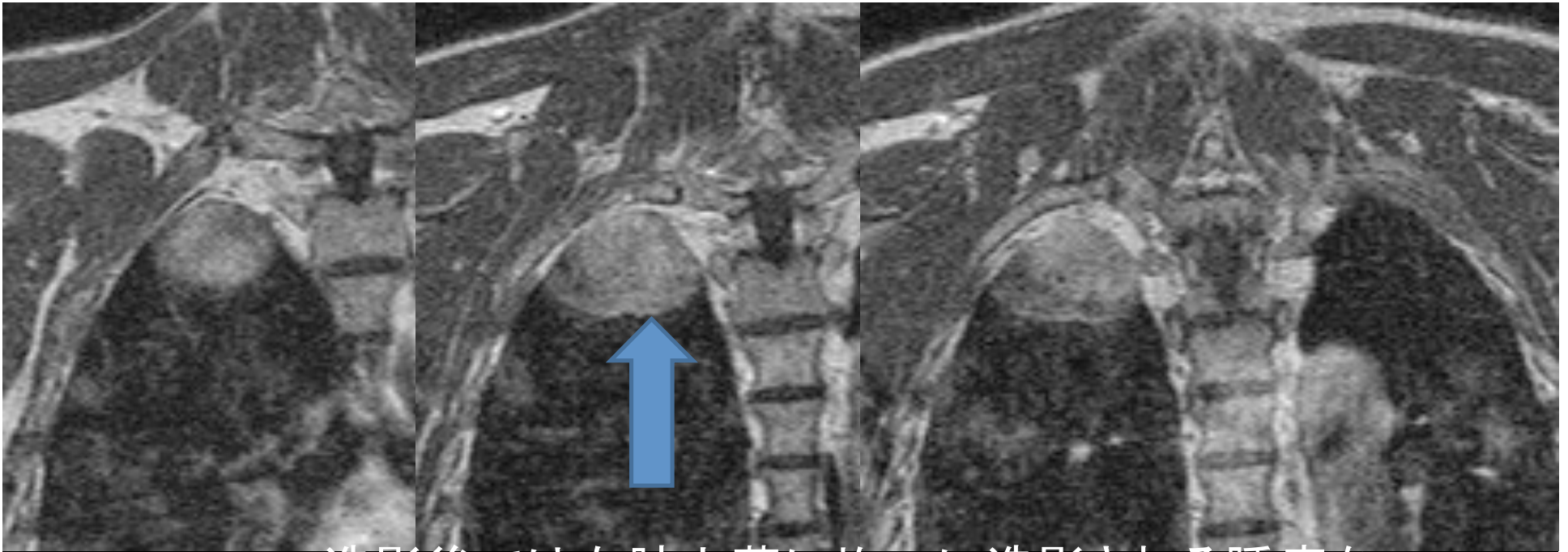
T1WIでは右肺上葉に低信号の腫瘍性病変を認める。





T2WIでは右肺上葉に高～低信号の信号が混在した
腫瘍性病変を認める。

胸壁には明らかな浸潤は認めないが、可能性がある。
病変は有茎性ではなく、広基性である。



T1WI造影後では右肺上葉に均一に造影される腫瘤を認める。

